



石教研 理科(小)部会



理科部報



2026.2.5 No.3



2026年のスタートです!

今年の干支は午(うま)ということで…

部長 渡邊 和宏

理科小部会員の皆様、あけましておめでとうございます。昨年の二次研究協議会では、千歳市サークルのご尽力により4本の公開授業、そして他サークルからも数多くの実践発表をいただき、本当にありがとうございました。今年も理科小部会を、どうぞよろしくお願いいたします。

さて今年の干支は「午(うま)」です。理科に関心の高い皆様は、ご家族を連れるなどして、動物園に足を運ぶ機会が割と多い方かと思いますが、馬の体を見る機会はあまり無いかも知れませんね。実は私の叔父が、大の競馬好き。家に遊びに行くと、馬の写真やグッズが所狭しと、飾ってあります。正月に訪れた際、「今年は午年…、理科部報のネタにせねば!」と、じっくり眺めさせてもらったところ、生き物としての目的達成のため、なんと無駄の無い美しいフォルムかと、驚きました。



筋肉隆々の長い脚や、草食動物ならではの広い視野、そして目には見えませんが、心肺機能がとても高く、長距離を走る際、エネルギー消費が少ないエコな呼吸が可能なのだそうです。これらは、ただ速く走るためだけでなく、生き延びるために必要な条件が積み重なって形づくられてきた進化の結果だと言えます。

さて私たちの授業研究も同じように、目に見える方法や教材だけでなく、その土台となる「理科の見方・考え方」を意識することが大切です。形やはたらきに着目すること、比較すること、関係づけて考えることは、よりよい授業を生み出すための“脚”や“視野”のような役割を果たします。

今年も、こうした視点を改めて大切にしながら、互いの実践を持ち寄り、より速く、そしてより遠くまで走れるような研究を進めていきましょう。部員一人一人の工夫が集まることで、本サークルの研究もさらに力強いものになると考えています。

今年も、こうした視点を改めて大切にしながら、互いの実践を持ち寄り、より速く、そしてより遠くまで走れるような研究を進めていきましょう。部員一人一人の工夫が集まることで、本サークルの研究もさらに力強いものになると考えています。

令和8年度 石教研理科(小)部会 活動計画

研究主題

見通しをもった実験・観察を通して、自ら問題解決し、
自己の成長を実感できる子どもの育成

【第27期 研究の重点】

理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって問題を追究し、解決する授業づくり

第27期は、令和5年度より「理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって問題を追究し、解決する授業づくり」を研究の重点にして、各学年で育てたい問題解決の力について研究を進めた。

近年の各種調査等で、「見通しをもって実験、観察を行い、分析・解釈することに課題がある」と指摘され、児童主体の問題解決的な学習の必要性が高まっている。

また、国際的に見て、「理科を学ぶ意義や有用性を実感している児童が少ない」とされ、日常生活との関連や、問題を解決する成功経験の蓄積が求められている。そこで、児童が見通しをもって問題を解決し、理科を学ぶよさや自己の成長を実感できる子どもの育成を研究主題とした。

理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって問題を追究し、解決する授業を積み重ねることにより、児童自らが解決方法を考えたり、知識を関連付けてより深く理解したりすることができる。このような学習活動を積み重ねることで、学んだことを次の学びや日常生活に生かし、さらには、自己の成長を実感できるようになると考える。

そこで、児童が見通しをもって問題を解決し、理科を学ぶ良さや自己の成長を実感する授業について研究を進めることとした。

【中心単元と各領域の見方】

3年	風やゴムの力 【6, 7月実施内容】 ☆エネルギー領域「量的・関係的な見方」
4年	体のつくりと運動 【5, 6月実施内容】 ☆生命領域「共通性・多様性見方」
5年	流れる水と土地 【10, 11月実施内容】 ☆地球領域「時間的・空間的な見方」
6年	水溶液 【1, 2月実施内容】 ☆粒子領域「質的・実体的な見方」

【中心サークル】

恵庭市



恵庭市
Eniwa City

次年度の授業づくりをお願いいたします。単元の入替えが必要な学年がありますので、ご確認ください。